## 福祉用具利用効果評価スケール様式(改訂版)

	目標確認と到達度評価								
目	導入時記録( 年 月 日) 記入担当者 役職 氏名								記入担当者 役職 氏名
標									担当ケアマネジャー 氏名
到達	経過記録(	年 月 日)							記入担当者 役職 氏名
度									担当ケアマネジャー 氏名
	福祉用具と	③目標ル達成のため	①・②導入時実行レベルと目標設定					担当リハ専門職 氏 名	
	自立・介護の	に用いる福祉用具	(現状:□、目標:● で記入) ⑥目標期間中の実行レベル(記号:下記参照)						1.
			7-						2.
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(福祉用具を変	行 わ	全介	部	頭	見守	白立	④生活動作に関する特記事項
		更・追加する際は、	ず	助	介	当指	(A)	17	
		新しい様式を追加する)			助	示			⑦目標達成のための再アセス ・ハン・ === / ニ
	日常生活動作	9 a)							メント評価
	起居								
	起店								
	排泄								
	入浴								
	食事								
	更衣								
	移動(居宅内)								
	屋外移動								
	自由記載								
	口口心戦								
⑤用具利用全体の留意点		⑧利用効果に関する特記事項							

## 福祉用具導入検討時:

- ①日常生活動作の現状レベルに□を記入(福祉用具専門 相談員)
- ②目標設定として該当動作/レベル枠に●を記入。(リハ専門職)
- ③目標レベル達成時に想定している福祉用具利用状況

を記入。 (リハ専門職を含むサービス担当者会議で検討・記入) 再アセスメント評価時:

⑥観察時の日常生活動作状況を該当レベル枠に以下の記号で記入

(リハ専門職、あるいは福祉用具専門相談員が記入)

- ▲後退変化、△変化なし、○改善変化、(レベル移行なし)、◎顕著な改善 (レベル 移行あり)
- ⑦経過時に利用上の留意点・改善提案を留意点欄に記入。(リハ専門職、サービス担当者会議)
- ⑧福祉用具利用効果に関する特記事項を目標と対比してコメント。(サービス担当者